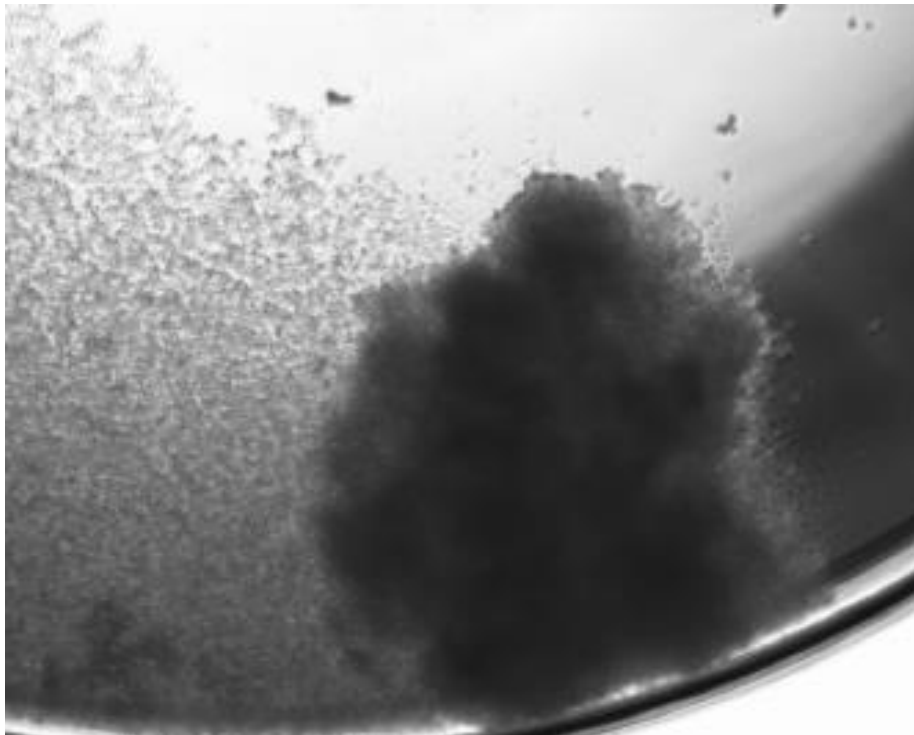


# マウスリンフォーマ試験

## Mouse Lymphoma Assay : MLA

— 遺伝子突然変異を指標とした高感度な遺伝毒性試験 —



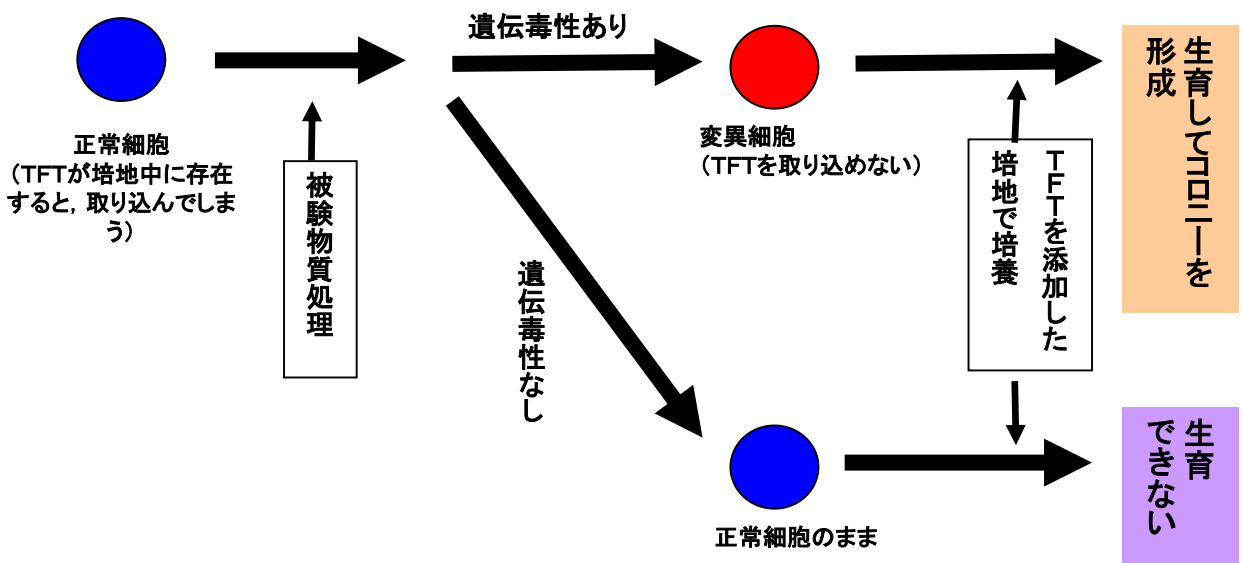
## 試験概要

正常細胞から変異細胞への変異を指標として、

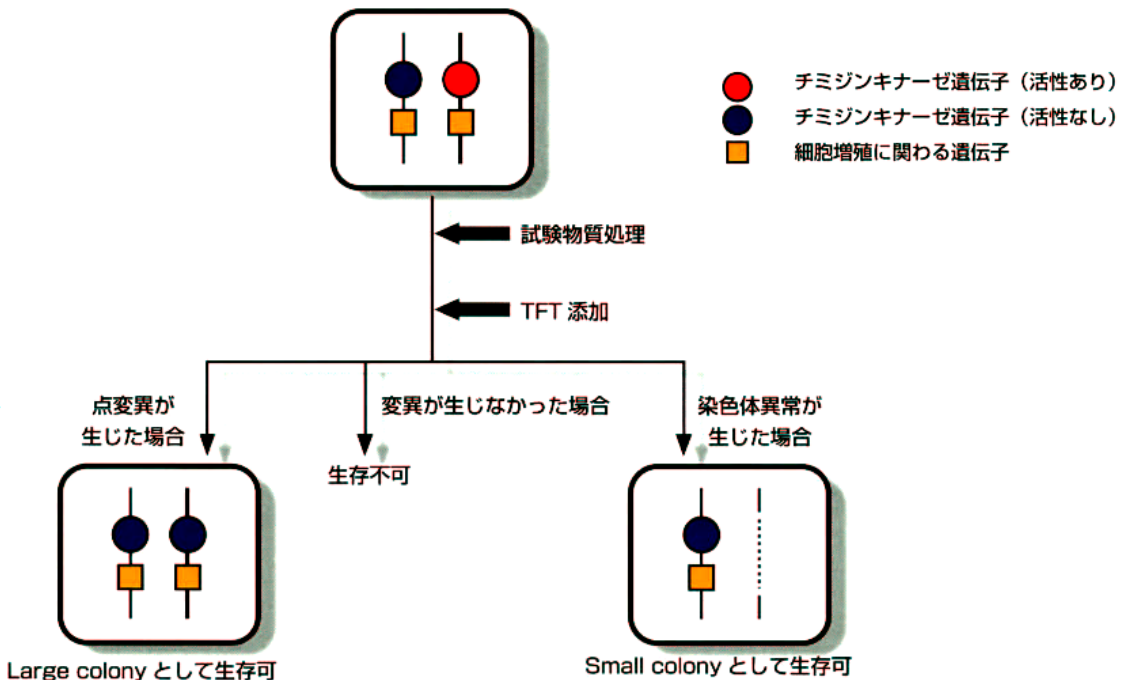
突然変異誘発性を検出します

- 前進突然変異 (Forward mutation)
- 細胞にとって毒である、トリフルオロチミジン (TFT) の取り込みを利用する
- 使用細胞: マウスリンパ腫由来 L5178Y  
11番染色体のチミジンキナーゼ (tk) 遺伝子を1コピーしか持っていない
- 形成されるコロニーの大きさで、点変異と染色体異常レベルの変異を区別できる

## 試験原理



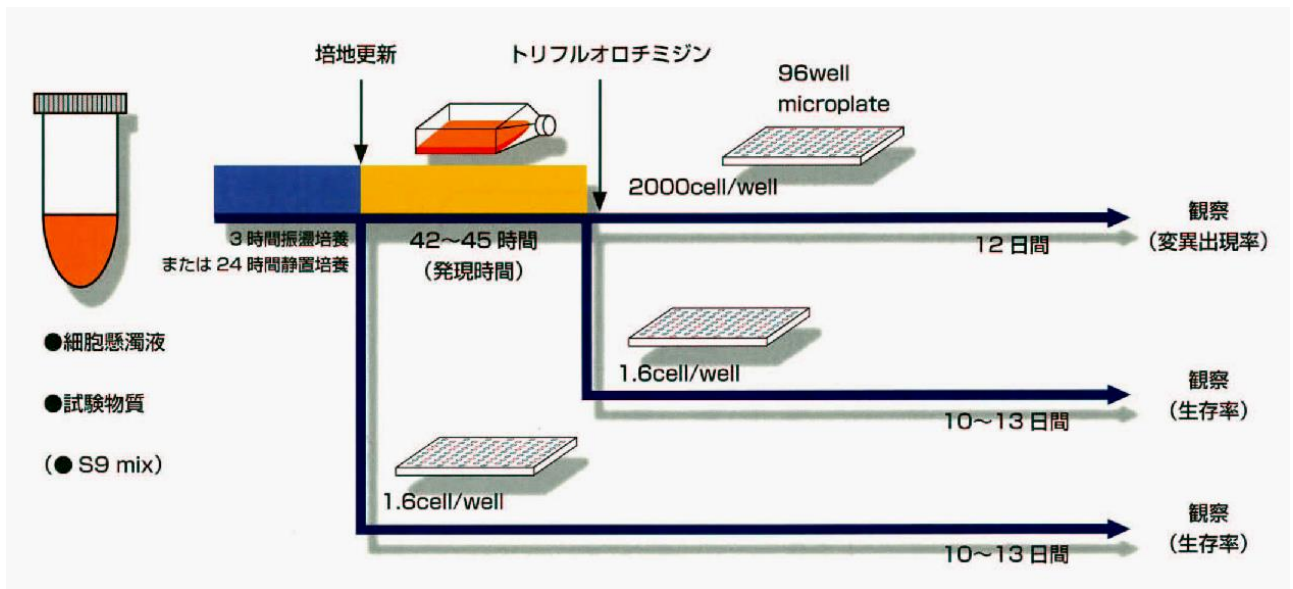
供試細胞: マウスリンフォーマ細胞 (L5178Y)



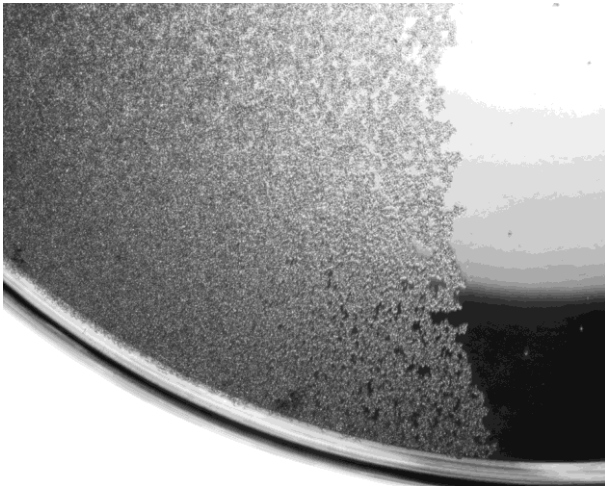
掲載内容は2019年8月時点での情報です。試験項目は予告なく変更されることがございます。

【お問い合わせ】 TEL 03-5577-0807 もしくは 06-6204-8411 <https://www.medicence.co.jp/medicem/nonclinical/contact/privacy.html>

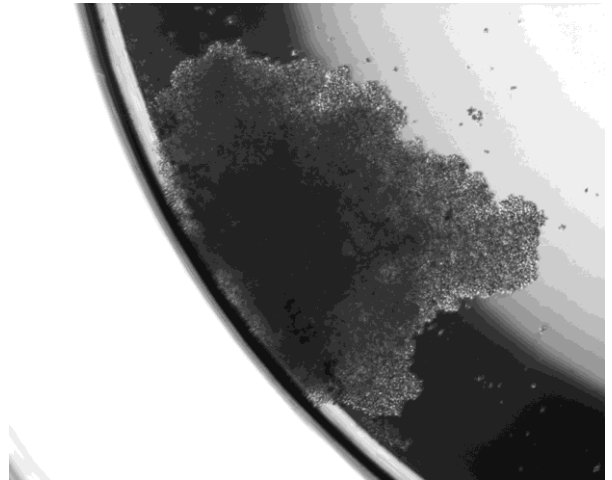
## 試験の流れ



## 評価・判定



大コロニー



小コロニー

統計検定により、陰性対照群との有意差ならびに  
用量依存性を評価する。